

# 建材コレクション

特 集 社

東京都千代田区内神田3-2-4 テイトビル TEL 03-101-0047  
電話 03(3256)3266(代表) FAX 03(3256)3264  
購読料(前納) 1カ年 73,500円 / <http://www.tokushusha.co.jp>  
e-mail root@tokushusha.co.jp

## -CONTENTS-

平成20年7月15日発行

第2383号

現況 共通化・標準化進む建材・住宅設備 ..... 2

特集 高速シートシャッターの現況 ..... 3

☆07年は予測以上の需要減退

☆市場の空気の読みが重要に

建材・住設ニュース ..... 14

文化シャッター、日本アルミ手摺工業会、昭和フロント、  
新日軽、長期使用住宅部材標準化推進協議会、  
アイジー工業、トステム、建産協

### フレッシュ・ジャンプ商品

三和タジマの「ABX」 ..... 23

建築着工統計推移グラフ(建築着工) ..... 24

TOSTEM

新時代のパイオニアはいつもトステム

「トステムショールーム東京」は  
最新の商品情報サービスと最適のプランサービスで  
お店の営業力をバックアップします。

●アルミサッシからキッチン、バスルームまで

トステムホームページアドレス <http://www.tostem.co.jp>

年中無休(年末年始 夏期休業日は除きます)

TEL 03(5626)1001

トステム株式会社

# 現況

## 共通化・標準化進む建材・住宅設備

「今後の住宅産業のあり方に関する研究会」(座長久保田芳郎積水ハウス取締役)は、07年4月から7回に亘って今後の住宅産業の方向性を検討し、その議論を取りまとめた報告書「住宅産業のニューパラダイム」——ストック重視時代における住宅産業の新たな発展に向けて——を3月に発表している。その方向性というのは次の三つである。

- ①従来の新築販売を主な収益源とするビジネスモデルから、住宅の継続的な利用価値の向上も収益源とするモデルへの転換
- ②建材、住宅設備、製造、施工、メンテナンス、リフォーム、不動産流通・金融、住生活サービス等の業種の枠を超えた協業による効率化と付加価値向上
- ③住宅のハードを製造販売する産業(「ハコ」の提供)からソフト面の対応も含めて住生活の価値を高める住生活提案産業(「場」の提供)への進化

どうやらこれからの住宅産業を捉えるには、住宅の工場生産段階だけに着目するのではなく、建材や住宅設備、さらにはメンテナンスやリフォームまでを含めたサプライチェーン(川上から川下までの一連のつながり)全体で捉えるべきテーマが増加してきたようだ。また、経済産業省が4月に発表した「今後の住宅産業のあり方に関する研究会」報告書において、「長寿命住宅の基盤作り」が政策的取組みの一つに抜擢された。その線に沿って7月1日に設立された「長期使用住宅部材標準化推進協議会」は長期使用対応部材の共通化・標準化を推進していくことになる。建材・住宅設備の方向性の一つは「共通化・標準化」となった。

**セトキの  
さわやか目かくし  
[PCI型]**

- ◆ポリカーボネイト製の中空構造パネルを採用。
- ◆明るくて、見えにくいタフな素材。
- ◎カラー【パネル】ホワイト・ブラック 【サッシ枠】ホワイト・ブロンズ・ブラック
- 経済性に優れた特殊強化  
プラスチックを採用の……
- 大好評 [Dタイプ] セトキ販売

## 高速シートシャッターの現況

### 07年は予測以上の需要減退

07年の高速シートシャッターの全国需要は前年比約5%の減少となった(特集社推定)。

昨年当初メーカーが予測(後述)した出荷予測を大きく下回った。これからの市場の空気の読みが重要になってきた。

改正建築基準法の影響に加え、ユーザー企業の防衛意識の高まりで民間工場投資が冷え込み、材料価格の値上がりが需要に水を差した。

製品価格は一部で転嫁が実現したものの、機会損失により、大勢として価格転嫁は遅れている。

もっとも、この落ち込みは他の建材製品の中では「いい部類」に入るとの見方もあるが。閉塞感の中でこのところ話題性のあるのは小松電機産業の新製品(後述)である。

07年度の、

三和シッター工業の出荷台数は前年比約7%ダウンした。

文化シッターは出荷台数で前年比約10%減、売上金額で前年比約5%減少した。

ユニフローは出荷台数で前年比約8%マイナス。

一方、小松電機産業は既設物件への取り付けに注力、改正建築基準法の影響をあまり受けなかった。27期(平成19年8月~平成20年7月)は前年比横ばいになるもようだ。

トステム鈴木シッターは前年比20%増となった。同社も取り替え・増設物件主体に営業展開した。価格競争の激しい新築物件を避けた。

松山産業(滋賀県)は前年比70%増であった。直販で細かい営業をした。

ワールド工業の状況は明らかでない。

昨年5月から今年5月までの工場・倉庫の新設着工の推移を統計的に見ても、ほとんどの月が前年割れ。高速シートシャッターの需要低迷は無理もない。

インテリアにアルミを取り入れるという発想

△△三協立山アルミ株式会社  
本社/〒933-8610 富山県高岡市早川70  
住宅建材事業本部/TEL(0766)20-2251  
関東住宅建材支店/TEL(03)5465-7870  
東海住宅建材支店/TEL(052)701-0921  
関西住宅建材支店/TEL(06)6916-0203

**AMIS**  
ALUMI MODERN INTERIOR SYSTEM  
<http://www.genkan.net/>



## 民間建築主の着工建築物の推移

平成 19 年 5 月～平成 20 年 5 月 (国土交通省) 床面積の単位は  $m^2$

	工場			倉庫		
	棟数	床面積		棟数	床面積	
		前年比			前年比	
19 年 5 月	1,194	1,307	- 2.7	1,574	1,359	15.1
6	1,591	1,831	25.5	1,929	1,002	12.6
7	1,033	901	- 34.5	1,304	654	- 28.7
8	626	646	- 57.1	917	709	- 22.0
9	570	399	- 74.9	968	430	- 42.4
10	708	1,098	- 5.6	1,143	271	- 67.4
11	839	906	- 26.9	1,245	338	- 53.3
12	863	997	- 24.6	1,227	572	- 10.2
20 年 1 月	820	728	- 21.3	1,110	750	- 10.9
2	947	882	- 19.5	1,198	458	- 40.0
3	904	1,071	4.4	1,256	597	5.0
4	939	1,019	- 18.1	1,316	593	- 23.5
5	996	1,183	- 9.5	1,303	684	- 49.7

自動ドア利用者の安全・安心の向上

## 自動ドア安全ガイドライン\*

〈スライド式自動ドア編〉

スライド式自動ドアは長年の実績から安全性の高いドアと評価されております。これからも安全であり続けるために、自動ドア製造者や設置施工者はもとより玄関廻りの設計から建物の管理まで、それぞれの関係者にご配慮いただきたい事項をまとめた『自動ドア安全ガイドライン』を自主制定、関係方面のご理解のもとに、**2006年4月1日以降施工の自動ドアに適用**を開始しております。

自動ドア利用者の安全のために関係者各位のご理解とご協力をお願い致します。

(※全国自動ドア協会が制定し会員企業および関係者の理解と協力によって実施されるものです)

自動ドア安全ガイドラインの要約版「安全ガイドブック」は全国自動ドア協会ホームページでもご覧いただけます

**JADA 全国自動ドア協会**  
Japan Automatic Door Association  
〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番18号

ホームページ  
<http://jada-info.jp>

## 07年のメーカー別高速シートシャッター出荷実績 (特集社推定)

	07年実績	06年実績
三和シャッター工業	87,500m <sup>2</sup>	94,000m <sup>2</sup>
文化シャッター	5,500台	6,100台
小松電機産業	※6,000台強	6,100台
ユニフロー	2,300台	2,500台
トステム鈴木シャッター	500台	400台
ワールド工業	300台	300台
松山産業	200台	120台
合計	14,800台 + 87,500m <sup>2</sup>	15,520台 + 94,000m <sup>2</sup>

※小松電機産業は平成 19 年 8 月～平成 20 年 7 月見込み。

注) メーカー個々の出荷台数の中にはメーカー相互の融通商品がダブルカウントされているケースがある。三和シャッター工業の単位は  $m^2$ 。他メーカーの単位は台。

## 高速シートシャッターの全国出荷の推移 (特集社推定)

2001 年	16,200 台
2002 年	16,900 台
2003 年	19,500 台
2004 年	20,400 台
2005 年	21,500 台
2006 年	22,300 台
2007 年	20,800 台
※ 2007 年	23,100 台 (07 年 6 月時の予想)

※は本誌がメーカー各社の 07 年の予想出荷台数を総合した 07 年の全国出荷見込み。

「23,100 台」は始まって以来の期待を込めた想定数字であったが、現実は予想の 10% ダウン。この、落差にメーカーのダメージは大きかったと思われる。

## 需要変調で攻防に変化

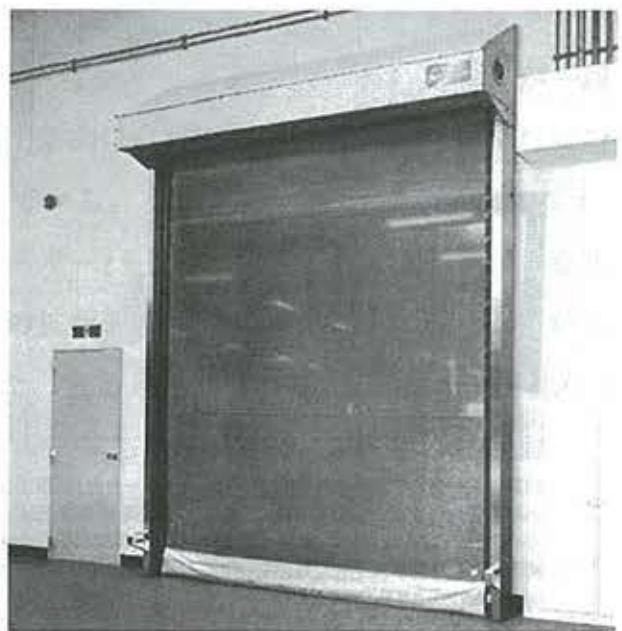
昨年までは食品工場・医薬品工場・電気精密機器工場にシフトされ、屋内用・小型タイプが主役であった。それらの市場にはまんべんなく設置され、市場に認知された。各

「KV・WVシリーズ」の詳細は後述するが、性能を飛躍的に向上させたことで、新設需要はもちろん、改修需要に威力を發揮することが考えられる。

CO<sub>2</sub>カットの商品化は業界各社が目ざしているが、小松電機は「KV・WVシリーズ」に先取りしてとり入れた。

### メーカー各社の動き

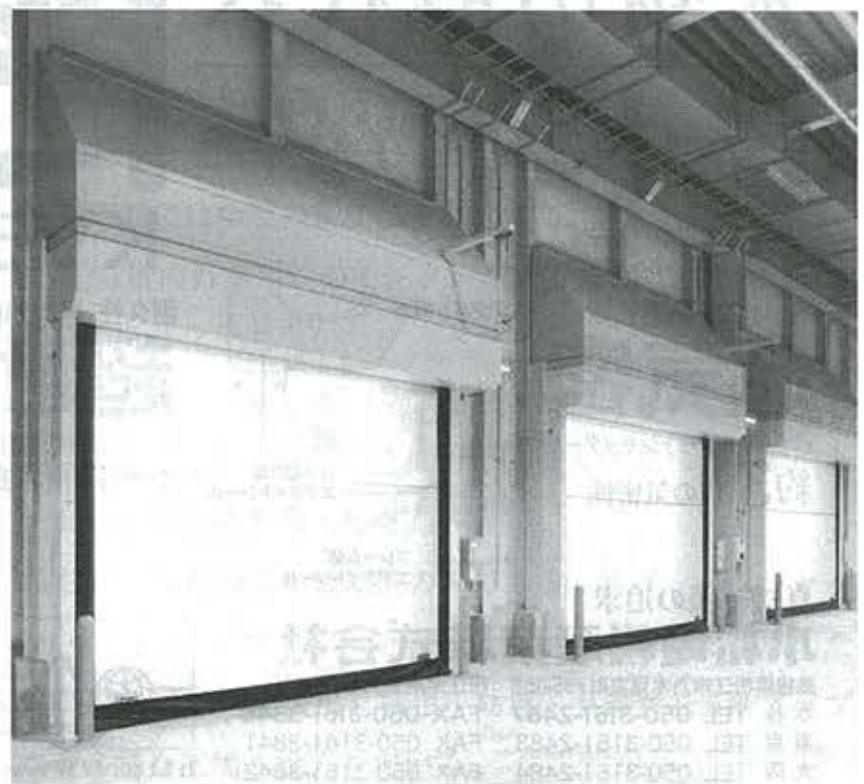
三和シャッター工業は、重点商品、昆虫飛来阻止率90%の「フレクシー SR-F」が市場に認知され、食品関係施設にまんべんなく設置され、全体の出荷・売上げ共に前年比7%減の中で伸びが目立った。7月現在、昨年の影響を引きずっているが、08年度通しては06年並み(94,000m<sup>2</sup>/年)に回復することを期待している。



「フレクシー SR-F」

文化シャッターは、建築着工の影響もあって足踏みした。07年度の実績は前記のとおりだ。

08年度は売上げ42億円、出荷台数6,000台を目指している。「大間迅」の売上比率は「マジックタイプ」([M2]・[M3])約60%、「ミニタイプ」(屋内専用)30%弱で、「マジックタイプ」の[M2]パワーは防虫・防塵・気密・防



「大間迅」

詳しくはホームページで  
三和シャッター 検索

# 最速

シートシャッターとして最速※の  
2.5m/秒で開放。※2008年6月現在  
(当社調べ)

# 高気密

隙間を減らす構造の追求で  
気密性が飛躍的にアップ。

■気密性能データ 圧力差10Paの場合の通気量	
	通気量q [m <sup>3</sup> /h·m <sup>2</sup> ]
正圧	29.23
負圧	44.38

社内試験データによる

**まさかの時もおまかせ!**

ブレークアウェイ&オートリセット(ARS)  
車両などの衝突時にはシートからレールが外れて衝撃を吸収し、  
破損を最小限に抑えます。そして外れたシートは一度巻き上げ  
動作をさせるだけで、自動的にレールの軌道に戻ります。



**最速開放と高気密で、  
HACCPやGMPのクリアに貢献。**

出入りの頻度が高い、冷気・暖気の流出入を抑えたい、  
虫やほこりの侵入を抑えたい工場・倉庫の開口部にピッタリ。

**三和の高速シートシャッター クイックセーバー  
フレクシーSR シリーズ**

**クイックセーバーとの併設で、  
作業環境の最適化がいっそうすすみます。**

**三和の超高速シャッター  
超高速 ターボシャッター**

単層アクリルパネルで、最速は開放3.0m/秒、閉鎖0.75m/秒。  
※シャッターサイズ W4m×H5mまで



三和グループ 三和シャッター工業株式会社 03-3346-3011

社が屋内・小型市場に参入し、販売競争が激しくなっていた。屋内・小型市場はある程度商品が一巡した。今後この市場は実質的に総合力、競争力のある三和シャッター、文化シャッターの覇権の中に組み込まれるかに見える。三和の製品や文化のパイプレスタイルに挑戦する新商品が出ない限りは、ではある。

新商品展開では三和シャッター、文化シャッター両社は今のところ慎重であるかに見える。

三和シャッターは昨年、昆虫飛来阻止率90%の新シートを採用した「フレクシーアルミ SR-F」を発売したことで高速シートシャッター「クイックセーバー」の品揃えが一段と充実した。「フレクシーアルミ SR-F」は食品・医薬品工場向けに伸びが目立った。品揃えはほぼクリアしたが08年度内に新商品発売を予定している。

文化シャッターはパイプレスタイル「エア・キーパー大間迅」のバリエーションを追加しつつ、市場の評価が定まった「大間迅」の拡販を推進していく構え。数年来各種展示会へ「大間迅」を出展して啓蒙を進めてきた。去る6月24日から26日にはマリンメッセ福岡で開催された“西日本食品産業創造展'80”にも昨年に続き出展した。

ユニフローは、自社の中型・大型機種を見直し、小型機種の商圏を維持しながら、中型・大型の拡販に力を入れていく。特に大型については、より安全性を高めた、6~10mのワイド製品の改良型を09年に発売する。同社は、鋼材や外部調達部品の高騰などを背景に「安全生産が困難になった」と、07年に大型機種「RA-4」を生産中止にしたが、既存顧客からの要望が多かったことと、大型機種を融通出来ないことによる失注物件がしばしば発生したことから、競争上欠かせないアイテムと判断した。激戦地の屋内・小型市場ほどの活発さはないが、小型や需要堅調な中型の営業を展開する中で大型のビジネスチャンスを広げていく。08年下期には中型の新製品を発売する。

今年6月から主力商品「RA-2-a」(屋内外兼用)のモーター出力を最高750Wまでアップした。また、モーターの作動音の低音化を実現した。

トステム鈴木シャッターは、08年度内に「超」がつく気密性と耐錆性を高めた巻き取り式「アグロ」、「ラボ」2機種を食品工場等の改修・増設物件に投入するべく生産の準備を進めている。フランス・ナジコ社から技術導入した。

さて、直近で本格的な新商品を発売したのは小松電機のみである。高速シートシャッター「門番」に「KV・WVシリーズ」(パイプあり)を追加、5月16~17日に開催した代理店内覧会で発表した。CO<sub>2</sub>排出削減を前面に出し防虫・防塵・気密性を6倍アップした同シリーズを食品・精密など多様な工場へ投入していく。



## CO<sub>2</sub>排出削減 地球温暖化防止を推進

高い気密性と耐風性を兼ね備え、シートの耐久性を飛躍的に向上



国土交通省  
国土交通大臣表彰 2007.10

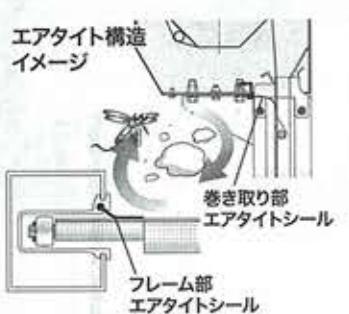
創業以来一貫して環境をテーマにシートシャッターを開発・製造し  
地球温暖化の防止に貢献するとともに、製品の技術標準書、安全  
ガイドラインの作成を行い、顧客の安全、安心を最優先に取り組み  
業界の健全な発展に多大な貢献をした。  
(国土交通省功労者表彰 功績概要より)



# 本物の時代へ 門番® シートシャッター KVシリーズ

### 高い防虫・防塵性能 超気密

パイプレシートシャッターの  
約3倍の気密性



真・善・美の追求

**小松電機産業株式会社**

島根県松江市乃木福富町735-188 松江湖南テクノパーク内  
本社 TEL 050-3161-2487 FAX 050-3161-3844  
東京 TEL 050-3161-2483 FAX 050-3161-3841  
大阪 TEL 050-3161-2484 FAX 050-3161-3842

### 耐久性、飛躍的向上 超耐久

シートの摩耗、破れを防止  
シート非接触構造



ハロー! 環境技術  
エコ製品で止めよう温暖化 チーム・マイナス6%  
小松電機産業はチーム・マイナス6%に参加しています  
<http://www.komatsuelec.co.jp>

鍛性能を高めたハイスペック仕様、[M3]は大開口向けワイドタイプ、安心・安全、省エネ、メンテナンス強化をスタンスにしている。

小松電機産業が5月に代理店へ内覧発表した「門番・KV・WVシリーズ」は、環境問題に正面から取り組んで実現した。平和・環境・健康の社是と累計販売台数11万5千台を突破した実績による開発ノウハウを100%反映させた。

「KV・WVシリーズ」は、

- 施工性を向上させた。
- 販価を従来普及型と同じ価格に設定した。
- 開閉において、新機軸のECOモード、方向検知、埋込型障害物検知センサー、開閉モニター搭載で、ECOシステムとして効率的な開閉を実現した。
- 巻き取りボックスに超気密エアタイトを取り付け、圧力差10Paの通気量を正圧9.0倍にした。

圧力差10Paの通気量 (m<sup>3</sup>/h・m<sup>2</sup>)

	正圧	10.57	9.0倍
	負圧	10.76	5.8倍
エアタイトシール付	正圧	77.22	1.2倍
無し	負圧	55.33	1.1倍
小松電機従来機	正圧	93.47	1.0倍
	負圧	61.89	1.0倍

※社内気密試験場にてJIS A 1516に従い実施。

※数値はKV10型による測定値

- モーター・シート・構造体を強固にし、耐久性を飛躍的に向上させた。

例：シートの両端にローラーを取り付けることで、開閉時に樹脂ガイドとシートが接触しない。摩耗や破れを抑えシート寿命が飛躍的に向上し、気密度の低下を防ぐ。

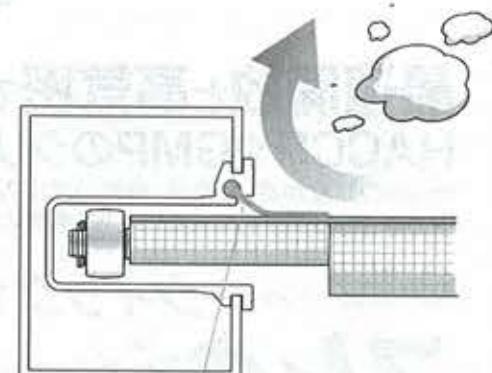
- 安全・清潔・省エネを15項目以上(PAT.P3カ所)の新機能で追求した。

「KV・WVシリーズ」においては、〈パイプあり〉の構造に従来よりも大幅に気密性を向上させたことが特徴的である。〈パイプレス〉の問題点を徹底的に研究し、それとうらはらに網羅的に〈パイプあり〉の機能を向上させたことに意義がある。



「KV・WVシリーズ」

エアタイト構造イメージ図



フレーム部エアタイトシール

ユニフローはチーム・マイナス6℃に参加しています。  
みんなで止めよう温暖化  
チーム・マイナス6℃

UNIFLOW



## 転ばぬ先のシートシャッター。

帯電防止シート標準装備。業界初の防爆タイプ。

高速シートシャッター スムーザー  
**SMOOTHER RS-2E**

防爆構造規格：d 2G4(iall CT5)



[www.uniflow.co.jp](http://www.uniflow.co.jp)

お問い合わせは **03-5719-6700**

株式会社 **ユニフロー** [本社] 〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-30-4

ユニフローは高い技術力を結集して高速シートシャッター「スムーザー」を商品化した。ラインナップは、

スタンダードタイプ／屋内外兼用

- ・「RA-2-a」、「RA-3-a」

スタンダードタイプ／屋内専用

- ・「RA-1SB」、「RA-1B」

冷蔵タイプ／屋内専用

- ・「RA-1R」

防爆対応／屋内専用

- ・「RS-2E」

である。

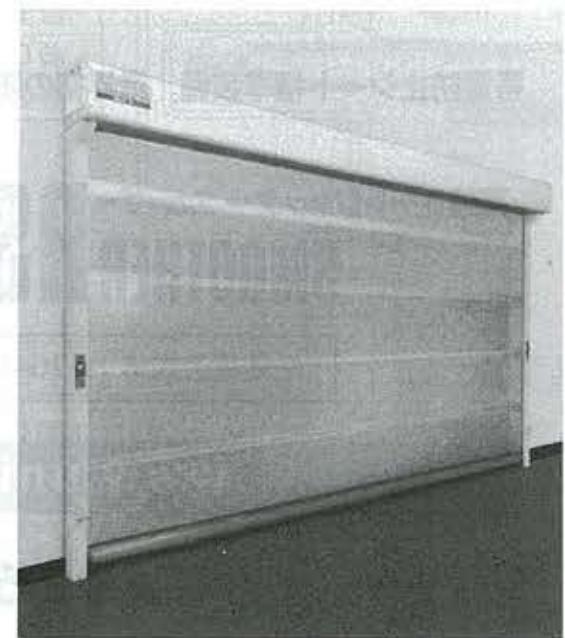
商品の出荷比率は、「RA-2-a」・「RA-3-a」が60%弱、「RA-1SB」・「RA-1B」が約30%、「RA-1R」・「RS-2E」が10%強である。

主力商品「RA-2-a」・「RA-3-a」に代表される幅3m～5mの中型機種が堅調だが、幅1～3mの室内仕様は過当競争の波にさらされた。中型機種については今後重点機種として力を入れていく。6m～10mの大型機種の拡販をも視野に入れている。

そのため、09年度には「Ra-3-A」(幅4.5m～6m)に改良を加え、幅10mまでの新製品を発売する。従来品製品に比べより安全性を高める。堅調な「RA-2-a」(幅1m～4.5m)と合わせ販売に注力していく。

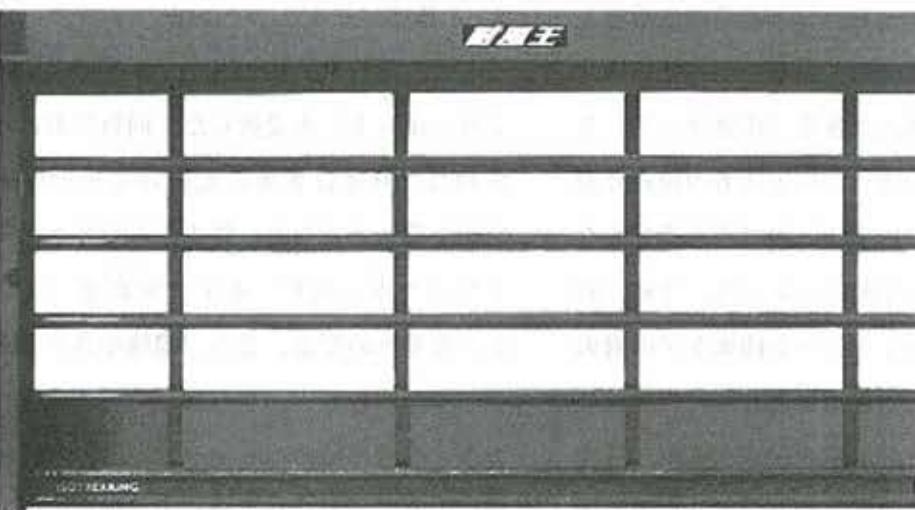


「RA-2-a」



「RA-3-a」

トステム鈴木シャッターは、現在国内調達の巻き取り式OEM商品の販売比率が高いが、表看板の「耐風王シリーズ」(折りたたみ式・巻き取り式)の知名度を高めるために努力している。「耐風王」はフランス・ナジコ社とライセンス契約して、埼玉県川越工場で生産している。前記のとおり08年度内に「アグロ」・「ラボ」の生産を始める。「耐風王」の問題点は他社製品に比べ販価が高いこと。そのため、価格競争の激しい新築市場とは一線を画し、取り替え物件、増設物件に特化した。製品積載の移動展示車によるユーザー訪問は継続しており、知名度向上に役立ち、成約率が高い。新製品「アグロ」、「ラボ」についても移動展示車展開でいくとしている。07年実績は前年比100台増の500台である。この伸びはトステム、INAXなど住生活グループ向けも寄与したようだ。



「耐風王」

ワールド工業(本社・さいたま市)は、開口幅13m以上の大型機種「ロールウェイ」に特化して営業を進めている。コンテック(愛知)、ロールウェイ高崎(群馬)、トミヤ商会(大阪)、ロールウェイ広島(広島)の全国4社の代理店と自社直販。「ロールウェイ」は下から巻き上げるタイプで、耐風速、耐久性が主な特長。工場の出入口が主力で、屋内・小型タイプの流れ、エコの流れに乗り遅れた。大型機種の市場も他社の参入もあって、受注競争にも巻き込まれた。低価格の戦略商品「シンプル」の出荷実績は少ないとしている。

松山産業(本社・滋賀県甲賀市)は、テント製造を本業としているが、10年前から高速シートシャッターの受注生産を始めている。ゼネコン、企業へ直販している。開口幅10mまで製造可能としている。昇之助(巻き取り収納方式)、開王(たたみ上げ方式)、昇之助防爆仕様の3種類を販売している。07年の販売台数は200台であった。幅10m×高さ6mのたたみ上げ式「開王」はワールド工業の「ロールウェイ」系だが、細かい営業方式が奏効している。「昇之助防爆仕様」は07年に数台販売した。